

2011年の、東日本大震災による寄付への関心・意識の高まりや、「市民公益税制」の整備、そして2012年の、内閣府の基金事業「新しい公共支援事業」をきっかけとする市民コミュニティ財団設立の動き、またクラウドファンディングの浸透など、寄付や社会貢献への意識や期待は高まっていた。2014年には、市民コミュニティ財団の全国組織である一般社団法人全国市民コミュニティ財団協会が設立。2016年には遺贈寄付を推進する全国レガシーギフト協会の設立（当財団加盟）や休眠預金活用に係る法律（2016年12月9日）の成立など、地域社会を構築していくための社会的投資の動きが活発になっています。一方で、市民の志を基にする社会資源を活用するには高い倫理規範と成果を求められている。

2019年度は第9期となり、地域円卓会議の取り組みも年間11回実施した。公2の資金循環事業では、じぶん基金では「琉球宇温基金」や「うむさん基金」、首里城火災の復興に取り組む「首里城アーカイブ基金」など新しい基金が多く誕生した。また、2019年度4月からは休眠預金を各地で助成を行う資金分配団体の募集が始まり、当財団が資金分配団体に選定されました。「沖縄・離島子どもの派遣基金事業」の事業実施がスタートし、円卓会議、説明会を実施し、実行団体の3団体が内定した。また、年度末には新型コロナウイルスの拡大防止のため、円卓会議の開催が2本延期になった。社会環境が大きく変化した年でしたが、本年度も当財団は、地域の困りごとを解決するための基金として、企業や個人の寄付を解決に取り組むところへ届けました。

2019年度 方針  
に基づき事業実施

- ◆ 地域円卓会議の取り組みを通じて、課題解決へ向けての取り組みを行う
- ◆ 沖縄における重点課題として、子どもの貧困、認知症の見守りとして取り組む
- ◆ 休眠預金の資金分配団体の検討
- ◆ 遺贈寄付の受入体制をつくる

## 社会の共感を育て、資金の循環を促す仕組みの構築

当法人は、沖縄における公益活動団体と、公益活動を支えたい企業、団体、個人等とを橋渡しするため、市民活動の社会的基盤の充実を図り、諸資源の循環をもたらすことで、地域のあらゆる主体が公益を担い、沖縄の未来を支え合う社会の実現に寄与することを目的とする。  
(定款第3条)

## 情報流通

市民活動の情報発信を促進し、市民の“共感”を育む

公益ポータルサイトの運営  
ソーシャル・ヒトワク  
広報誌等による情報発信  
県内外の寄付文化に関する情報収集と発信

## 資金循環

“共感”による寄付で、市民活動団体が自律的かつ継続的に活動できる環境づくりをめざす

市民活動を支援する基金の運営  
市民活動団体への寄付と助成のプログラム提供  
寄付文化を醸成するフォーラム等の開催  
他機関の助成プログラム等の支援  
企業CSR/CRMの促進

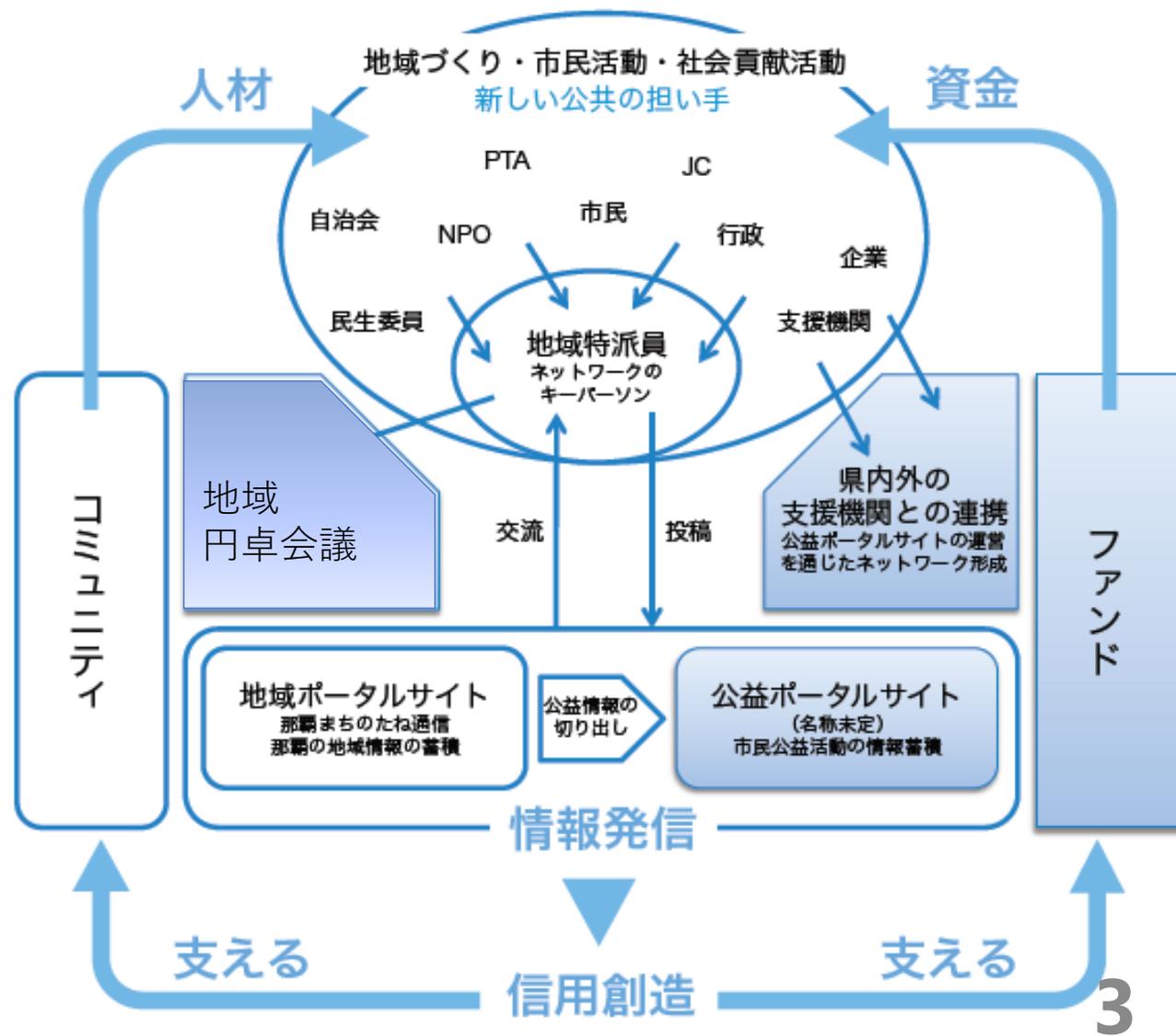
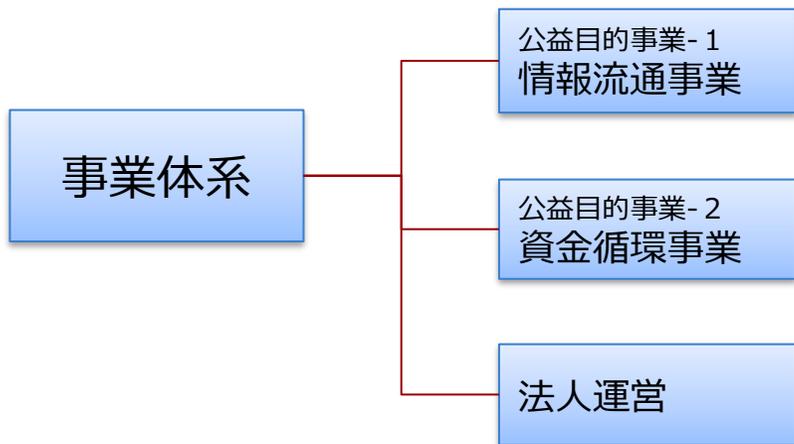
# 事業スキーム

社会の共感を育て、資金の循環を促すしくみの構築に取り組む

当財団は、市民コミュニティ財団として公益法人格を有して、以下の公益目的事業を実施する。

コミュニティ財団とは、地域の人々によって設立され、地域のために活動する慈善事業組織です。この組織は、地域からの寄付によって成り立ち、市民によって構成される理事会によって運営され、地域社会のより良い暮らしのために活動しています。資金源は多種多様であり、地域社会の長期的な生活の質の向上のために活用されています。これらの資金は地域社会の代表の選択により各種組織・目的に向けて配分されます。

(全国コミュニティ財団協会資料より抜粋)



2018年度の受入寄付額 30,339,469円 (69件)  
前年度比 -23,740,614円 (+191件)

## 基金

寄付総額 6,598,855円 (260件) 新基金設置5基金

- 2019年度内の採択：第12期たくす 2事業  
カスタマイズ 3事業 (わらび屋子どもの居場所一基金、首里城アーカイブ基金、うむさんラボ基金など)
- じぶん基金：3基金 新崎盛暉平和活動奨励基金、宮里大八国際交流基金、琉球宇温基金
- うむさん基金 (2事業)、沖縄まちと子ども基金

寄付月間2019 沖縄パネル展の開催

- 沖縄県立図書館3階展示コーナーにて開催 (R1年12月4日～R2年1月6日)  
参加：NPO4 民間3 沖縄県1 大学1

## 助成

「寄付と助成のプログラム」採択が通算35事業に

- たくす 第11期 3団体  
たくす 第12期 2団体、カスタマイズ 4団体
- じぶん基金：新崎盛暉平和活動奨励基金 助成実施 1名  
琉球宇温基金 助成実施 2団体

## 課題 解決

地域円卓会議が好評！ 11回開催・支援

- 開催場所 (那覇市、浦添市、沖縄市、宮古島市など)
- テーマ (子どもの貧困、FIBAワールドカップ、まちぐわーと食を考える等)
- 沖縄子どもの未来県民会議より3本の円卓会議を受託

休眠預金等活用法に基づく資金分配団体に決定

- 一般財団法人日本民間公益活動連携機構 (JANPIA)助成事業  
事業名：沖縄・離島子どもの派遣基金事業

実行団体公募説明会、同内定団体オリエンテーションを開催



子どもの貧困と児童労働のつながりを考える地域円卓会議  
2019.10.11



琉球宇温基金 贈呈式の様子 琉球大学学長と  
2020.2.25

# トピック1 寄付月間2019 沖縄



寄付月間パネル展  
沖縄県立図書館3階展示コーナー



期間：R1年12月4日（水）～R2年1月6日（月）  
場所：沖縄県立図書館3階展示コーナー

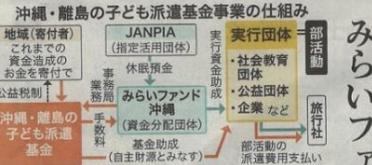
共催：沖縄県、琉球大学、みらいファンド沖縄  
内容：

- ・寄付月間2019について
  - ・首里城火災復旧・復興支援寄附金に関するパネル
- 展示
- ・参加団体パネル（活動の紹介）  
公益財団法人みらいファンド沖縄  
琉球大学基金室
  - ・沖縄子どもの未来県民会議
  - ・NPOの活動パネル



# トピック2 沖縄・離島子どもの派遣基金事業 (休眠預金交付金)

## 部活遠征費に 休眠預金活用



「子どもの貧困問題をとり組む公益財団法人「みらいファンド」が今年、10年以内に入札のない休眠預金を利用して、部活動の派遣費用を支払う。派遣費用助成事業を始める。」



## 「体験格差解決へ」

「体験格差」を克服し、子どもたちの成長を支援する。休眠預金を活用し、部活動の遠征費を支える。地域ぐるみの取り組みで、子どもたちの活動を支える。休眠預金を活用し、部活動の遠征費を支える。地域ぐるみの取り組みで、子どもたちの活動を支える。休眠預金を活用し、部活動の遠征費を支える。地域ぐるみの取り組みで、子どもたちの活動を支える。



▲子どもたちの部活動における派遣費用負担を考える地域円卓会議の開催  
 日時：2019年12月21日(土) 14:00-16:40  
 場所：琉球大学 研究者交流施設・50周年記念館  
 着席者数：8名 来場者数：38名

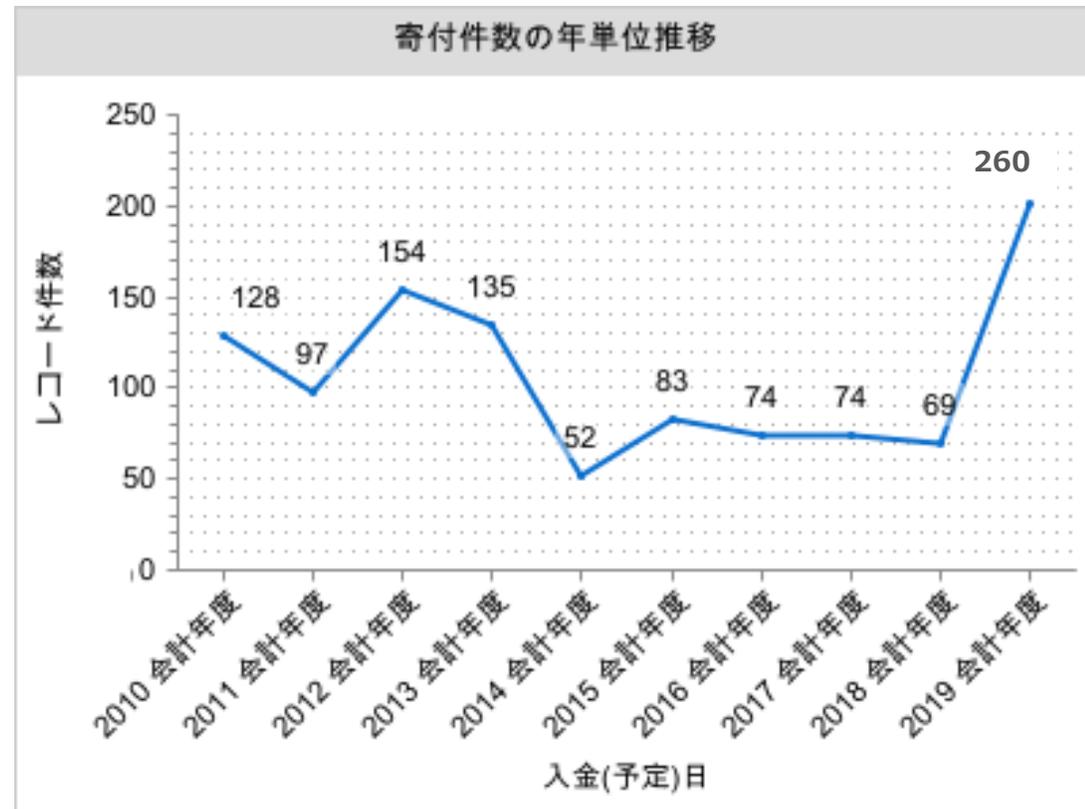
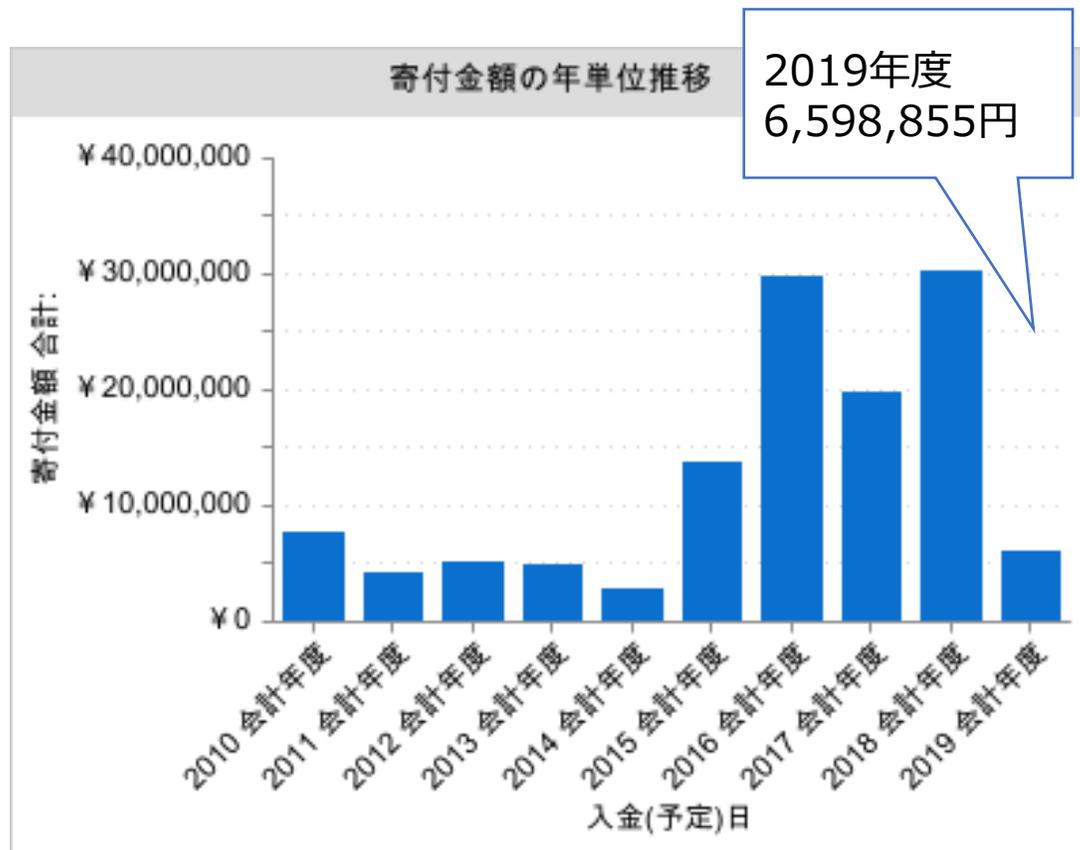
◀新聞記事掲載  
 沖縄タイムス\_2020年1月27日 1面掲載

▲県内3カ所で説明会の実施  
 1/16 第1回那覇会場  
 1/22 第2回石垣会場  
 1/26 第3回宮古島会場



▲内定団体オリエンテーション  
 日時：2020年3月19日(木) 10:00~17:00  
 場所：沖縄県立美術館・博物館 県民アトリ  
 講師：ケイスリー株式会社  
 代表取締役CEO 幸地正樹氏  
 / 取締役CKO 落合千華氏

# 寄付金額と件数の推移



寄付金額

**124,786,729円**

延べ寄付者数

**1,126件**

## 公1 情報流通事業

沖縄の寄付文化醸成のため全国との連携を図っている。2019年度は、当財団は協会の副会長に就任した。会員数は、正会員17団体、準会員8団体と年々増加傾向にあります。当財団は九州ブロック理事として参画し、全国におけるコミュニティ財団の信頼性の向上と政策提言、環境整備に努めています。また、全国レガシーギフト協会の理事にも就任し、遺贈寄付の推進に取り組んでいる。

12月には、全国で寄付を推進する月間として、「寄付月間Giving December 欲しい未来へ、寄付を送ろう」が行われた。当財団も寄付月間推進委員として沖縄での推進に取り組み、沖縄県とともに沖縄県立図書館3階展示コーナーで寄付月間パネル展を開催した。

「公1 情報流通事業」は依然として資金の調達が難しい構造になっており、新しい事業資金の調達方法を考えていく必要があると考える。

# 公1 情報流通事業 実施した事業

区分	事業名	実施時期	事業の概要
公1 -1)	公益ポータル運営	通年	NPOデータベース登録数：現在335団体 今年度は更新ページを少し工夫して読み物ページなど検索に当たりやすい施策を行っていく。また、どのページで離脱しているのかを計測・判断し、「ページ離脱」の改善も行っていく。
公1 -2)	他機関連携・情報収集	—	全国の動向を知り、沖縄での寄付文化醸成に寄与するため、各機関の研修やフォーラムへ参加した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・おきなわ市民活動支援会議へ参加（月1回）</li> <li>・全国コミュニティ財団協会（以下全コミ財） 副会長 理事会、研修会への参加</li> <li>・全国レガシーギフト協会 理事</li> <li>・寄付月間Giving December 欲しい未来へ、寄付を送ろう</li> <li>・寄付月間推進委員</li> <li>・委員：沖縄子どもの未来県民会議 事業推進部会 委員（小阪）</li> </ul>

区分	事業名	実施時期	事業の概要
公1 -4)	ソーシャル・ヒトワクの放送	月1~2本 再放送あり (4本)	NPOの活動紹介と、NPOの活動を紹介するトーク番組をタイフーンfm (78.0MHz)で放送した。  NPOヒトワク- 放送回数12回 (2010年度からの通算201回)
公1 -5)	みらいファンドニュースの発行	月1回程度 臨時号あり	メール、Facebookなど即時性を活かした情報発信を行う。助成やイベント等の情報を発信し、NPOのみならず社会貢献に関心のある方へ情報を提供し、参加機会の提供を行う。

## 公2 資金循環事業

「寄付と助成のプログラム」では第11期が寄付募集活動支援期間が終了し、第12期は、2事業が採択され寄付募集を行っている。また、寄付と助成のプログラムたくすの高額寄付募集として、カスタマイズ（募集期間・手数料が異なる）を行い、今年度も寄付募集を継続し多額の寄付を寄せていただいています。

じぶん基金の一つである新崎盛暉平和活動奨励基金では、助成の実施から事業報告会まで実施した。助成個人名称を冠したDAF（ドナー・アドバイズド・ファンド）の創設に引き続き力を入れており、琉球宇温基金が新たに誕生した。

今年度は公2 - (5) 休眠預金の資金分配団体に決定しました。休眠預金は、沖縄の課題解決のための新たな資金源として考え、部活動遠征費の課題解決に取り組むこととし、事業名を沖縄・離島子どもの派遣基金とした。2019年度は資金分配実行団体を募集し、3団体を内定した。

マッチングイベントでは、2010年度より開催を重ねてきた「地域円卓会議」は引き続き好評で、2019年度は11回開催した。

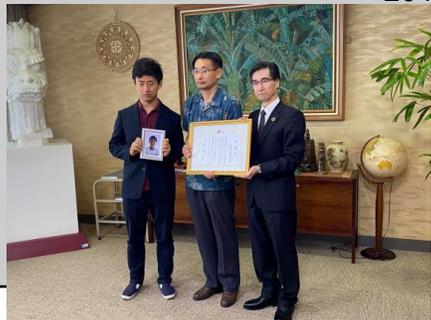
区分	事業名	実施時期等	事業の概要
公2 -1)	テーマ型基金 世界若者ウチナーンチュ大会支援基金	2012年6月設置	今年度は特に活動なし。基金の今後の展開については、今後も継続することが確認された。
公2 -1)	テーマ型基金 沖縄まちと子ども基金	2012年12月設置	<p>第4期 採択団体：1団体</p> <p>事業名：SDGsを通して子どもの権利を考える調査            団体名：NPO法人沖縄青少年自立援助センターちゅらゆい            助成金額：417,000円</p> <p>選考会            日時：2019年8月26日（月）17：00～17：30            場所：みらいファンド沖縄事務局</p>

区分	事業名	実施時期等	事業の概要
公2 -2)	寄付と助成のプログラム 第11期たくす	寄付募集支援期間 2018年9月～2019年8 月	第11期たくす 2018年9月～2019年8月 採択団体：3団体 ・NPO乳がん患者の会 ぴんく・ぱんさー ・琉球フィルハーモニー管弦楽団 ・NPO法人 沖縄青少年自立援助センター ちゅらゆい  寄付受入総額 1,866,000円 助成総額 1,586,100円
公2 -2)	寄付と助成のプログラム 第12期たくす	寄付募集支援期間 2019年9月～2020年8 月	募集期間：2019年7月9日～8月9日 対象事業募集 説明会 今年度は継続団体のみのため説明会を行わなかつた  選考会： 日時：2019年8月26日（月）17:30～18:00 場所：みらいファンド沖縄事務所  採択団体：2団体 ・NPO乳がん患者の会 ぴんく・ぱんさー ・NPO法人 沖縄青少年自立援助センター ちゅらゆい  寄付募集目標総額 8,280,000円

区分	事業名	実施時期等	事業の概要
公2 -2)	寄付と助成のプログラム たくす カスタマイズ	寄付募集支援期間	申請団体：一般社団法人長生楽 採択結果：条件付き採択  寄付募集目標総額：3,000,000円 件数：2件 寄付総額：1,160,000円（2019年3月31日現在）
公2 -2)	寄付と助成のプログラム たくす カスタマイズ 新規	寄付募集支援期間	寄付と助成のプログラムたくすのカスタマイズ 高額寄付募集のため、・期間（寄付募集、助成） ・手数料 以外は、通常版とは異なるが、それ以外は寄付と助成のプログラムたくすと 同じ仕様 ・選考会： 日時：2019年11月2日（土） 場所：みらいファンド沖縄事務所（電磁的方法での実施） ・採択団体：株式会社 うむさんラボ ・寄付募集目標総額：10,000,000円
公2 -2)	寄付と助成のプログラム たくす カスタマイズ 新規	寄付募集支援期間 2019年11月～	申請団体：沖縄デジタルアーカイブ協議会 ・選考会： 日時：2019年11月2日（土） 場所：みらいファンド沖縄事務所（電磁的方法での実施） ・事業名：首里城アーカイブ基金 ・寄付募集目標総額：10,000,000円 ・件数：30件 寄付総額：791,803円（2020年3月31日現在）

区分	事業名	実施時期等	事業の概要
公2 - (3)	じぶん基金（個人創案型基金） J003 宮里大八国際交流基金	寄付募集支援期間 2015年9月～	Okinawan Dreams Project2019 沖縄における児童養護施設やひとり親の家庭の子どもたちを対象に、英語によるコミュニケーションを学び、海外留学体験をサポートするプログラム。 ・募集期間：2019年7月8日（火）～7月29日（月） ・助成決定数：2人 / 応募総数7人 ・寄付受入総額は、3,568,029円（2020年3月31日現在）
公2 - (3)	じぶん基金（個人創案型基金） J004 新崎盛暉平和活動奨励基金	2017年1月設置  寄付募集支援期間 2017年3月～	沖縄の歴史を踏まえ、沖縄の平和と人権を守り、沖縄を世界の平和の拠点とする市民の創造的実践活動、研究活動を助成することを目的として、この基金を設置します。 ・（第3期）募集期間：2019年5月15日（水）～6月15日（土） ・選考会：日時：2019年6月24日（月）18:30～20:30 場所：みらいファンド沖縄事務所 ・助成金額：30万円 北上田 毅さん（辺野古軟弱地盤問題の情報公開請求活用者） 助成交付式および記念講演会 日時：2019年11月12日 18:30～20:30 場所：那覇市民活動支援センター
公2 - (3)	じぶん基金（個人創案型基金） J005 琉球宇温基金 新規	寄付募集支援期間 2019年7月～	志半ばで亡くなった宇温が参画していた活動をサポートし、課題の解決に貢献すると共に彼の遺志を引き継ぎ、彼の「幸せをつなぐ」という志を引き継ぎたい家族と有志が集まり、この基金を設立。 ・寄付募集目標金額：10,000,000円 ・選考会：日時：2019年7月11日（木）19:00～20:00 場所：みらいファンド沖縄事務所 ・助成金額：30万円×2件 1. 特定非営利活動法人アメラジアンスクール・イン・オキナワ 2. 一般社団法人 大学コンソーシアム沖縄

贈呈式の様子  
2.25 琉球大学学長と



区分	事業名	実施時期	概要と事務局所感
公2 -(1~3)	以上の基金・プログラムのファンドレイジング等の支援に関する業務	1月	遺贈寄付勉強会の実施 参加団体 みらいファンド沖縄、シナジープラス、TAパートナーズなど
公2 -(5)	地域づくりのための 助成事業活用シンポジウム	2月22日の予定延期	地域づくりのための助成事業活用シンポジウム  日 時：2020年2月22日（土）13:00～17:00 場 所：沖縄県総合福祉センター ゆいホール ※新型コロナウイルスのため開催延期  ■主 催 地域づくりのための助成事業活用シンポジウム実行委員会 ■構成団体 沖縄県地域づくりネットワーク、おきなわアジェンダ21 県民会議、沖縄県企画部、（公社）沖縄県地域振興協会、社会福祉法人 沖縄県共同募金会、社会福祉法人沖縄県社会福祉協議会、（公財）沖縄 県文化振興会、沖縄銀行、琉球銀行、沖縄ろうきん、コープ沖縄、沖縄 子どもの未来県民会議、琉球新報、（公財）みらいファンド沖縄

\* 公2-(4)キャンペーン型基金については当年度は実施していない

区分	事業名	実施時期	概要と事務局所感
公2 -5)	休眠預金 資金分配団体申請	7月-11月	7/30 申請書類提出 10/1 内定団体通知 10/9 資金分配団説明会 (JANPIA事務所) 10/24 JANPIA-PO 未来ファンド事務所にて打合せ 11/15 JANPIA意見交換会 (JANPIA事務所) 11/26 資金提供契約 締結
公2 -5)	休眠預金交付金事業 沖縄・離島の子ども派遣基金事業	12月-	地域円卓会議の開催 子どもたちの部活動における派遣費用負担を考える 日時：12月21日 場所：琉球大学 説明会の実施 1/16 第1回 説明会 (那覇会場 30名) 1/22 第2回 説明会 (石垣会場) 1/26 第3回 説明会 (宮古島会場) 実行団体募集期間：1/16-2/20 申請団体数：5団体 選考会の実施 日時：2020年3月5日 (木) 13:30~15:00 場所：未来ファンド沖縄 事務所 選考委員：4名 内定団体オリエンテーション 日時：2020年3月19日 (木) 10:00~17:00 場所：沖縄県立美術館・博物館 県民アトリエ 講師：ケイスリー株式会社 代表取締役CEO 幸地正樹氏 / 取締役CKO 落合千華氏

\* 公2-(4)キャンペーン型基金については当年度は実施していない

## 公2 資金循環事業

区分	事業名	実施時期等	事業の概要
公2 -(6)	地域円卓会議の開催・支援	通年	地域の社会的課題の解決のための対話の場である「地域円卓会議」の開催・支援を行った。 地域円卓会議：11回 参加人数：約490名

	日付	内容	主催	参加人数
1	8/31 (日)	宮古みらい地域円卓会議	内閣府	58名
2	9/7 (土)	大学生の貧困を考える地域円卓会議	関東学院大学	60名
3	10/11 (金)	子どもの貧困と児童労働のつながりを考える地域円卓会議	認定NPO法人ACE	54名
4	11/7 (木)	沖縄子どもの未来県民会議地域円卓会議 (子どもの貧困)	沖縄県、 沖縄子どもの未来県民会議	23名
5	11/26 (火)	みんなで考えよう！「深夜の子連れ飲食の制限について」大円卓会議	浦添市	約100名
6	12/21 (土)	子どもたちの部活動における派遣費用負担を考える地域円卓会議	公益財団法人みらいファンド沖縄	38名
7	1/25 (土)	沖縄子どもの未来県民会議地域円卓会議 (子供たちの体験)	沖縄県、 沖縄子どもの未来県民会議	32名
8	1/26 (日)	宮古島とSDGsを考える地域円卓会議	宮古島市	21名
9	1/27 (月)	「FIFAバスケットボールワールドカップ2023」の受入体制構築に向けた地域円卓会議	沖縄市	54名
10	2/12 (水)	沖縄子どもの未来県民会議地域円卓会議 (子供たちの支援)	沖縄県、 沖縄子どもの未来県民会議	32名
11	2/15 (土)	まちぐわーと食を考える地域円卓会議	那覇市 経済観光部なはまち振興課	20名

区分	事業名	実施時期	概要と事務局所感
公2 -(6)	コレクティブインパクト事業	通年	<p>沖縄における重要課題において、コレクティブインパクトで社会課題解決を行う事業に取り組む</p> <p>①沖縄県認知症高齢者見守り推進事業 ②子どもの貧困問題の解決</p>
公2 -(6)	寄付月間2019	12月	<p>寄付月間パネル展の実施 期間：2019年12月4日（水）～2020年1月6日（月） 場所：沖縄県立図書館3階展示コーナー 参加：NPO4 民間3 沖縄県1 大学1 共催：沖縄県、琉球大学、みらいファンド沖縄 内容： ・寄付月間2019について ・首里城火災復旧・復興支援寄附金に関するパネル展示 ・参加団体パネル（活動の紹介）     公益財団法人みらいファンド沖縄     琉球大学基金室 ・沖縄子どもの未来県民会議 ・NPOの活動パネル</p>
公2 -(6)	各種勉強会の開催	随時	特になし

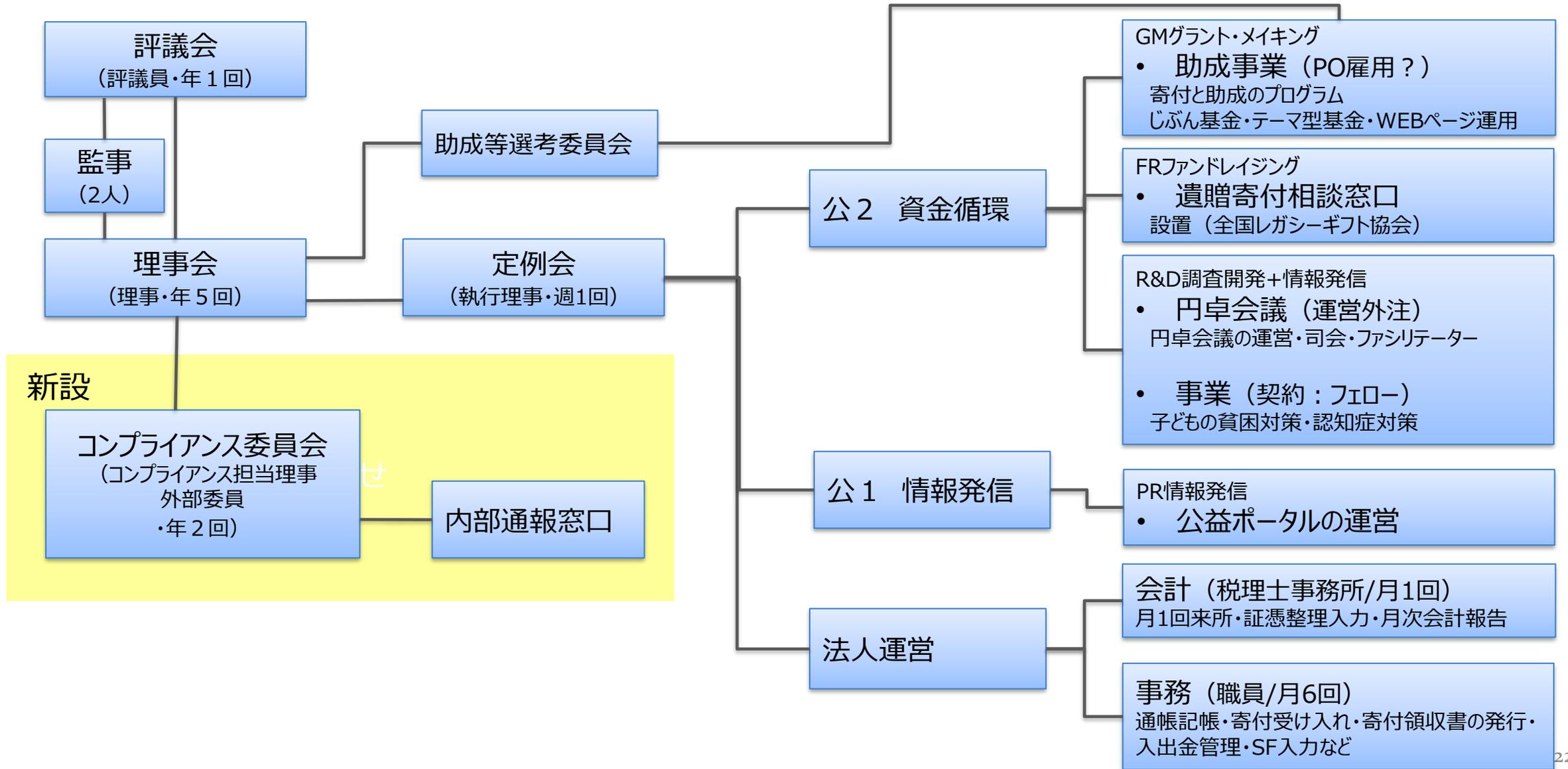
\* 公2-(7)寄付付き商品の企画・提案・コーディネートについては当年度は実施していない

## 法人運営

新たに休眠預金交付金事業が実施したことから、より高いガバナンス・コンプライアンスが求められている。規定類を新たに追加、理事会にコンプライアンス委員会を新設し、内部通報窓口の設置もおこなうなど、ガバナンス・コンプライアンスの強化を図った。

区分	事業名	実施時期	概要と事務局所感
法人	評議員会の開催	6月	第1回 定期評議委員会2019年6月21日（金）10:00～11:30 前年度事業報告の承認など 場所：みらいファンド沖縄 事務所 第2回 2019年10月11日（電磁的方法により実施）評議会運営規則の承認 第3回 2019年12月5日（電磁的方法により実施） 理事の選任
法人	監事監査の実施	5月	日時：2019年5月14日（火）10:00～12:00 場所：みらいファンド沖縄 事務所 監事2名
法人	理事会の開催	通年	場所：みらいファンド沖縄 事務所 第1回 2019年5月28日（火）10:00～12:00 前年度事業報告の承認など 第2回 2019年7月6日（土）10:00～12:00 各規程の承認など 第3回 2019年11月26日（火）10:00～12:00 新事業実施にともなう補正予算の承認など 第4回 2020年2月4日（火）10:00～12:00 コンプライアンス委員会の設置など 第5回 2020年3月24日（火）10:00～12:00 次年度事業計画の承認など
法人	新設 コンプライアンス委員会の開催	3月	日時：2020年3月27日（金）10:00～11:00 場所：みらいファンド沖縄 事務所 コンプライアンス担当理事：知念忠彦 外部委員：大浅田均（那覇市協働によるまちづくり推進協議会 副会長） 外部委員：仲根佑亮（株式会社シナジープラス 取締役 幸せ相続計画推進部 部長） 外部委員：保田隆生（社会福祉法人まつみ福祉会 介護老人保健施設桜山荘 部長） 総務職員：新城やよい（みらいファンド総務パート）
法人	事務局体制	随時	定例会 毎週木曜日10時 常務理事2名にて実施（→12月より3名） 職員：新城やよい（週3回勤務） 会計業務：大城税理士事務所に委託 月次報告 規定類の整備

# 当法人におけるガバナンス 組織体制



# 役員一覧

評議員（任期（4年）：2018年6月3日～2022年評議員会まで）

役職	氏名	所属
評議員	イナガキ ジュンイチ 稲垣 純一	沖縄電子ビジネス専門学校 理事
評議員	マキヤ ミツコ 真喜屋 光子	有限会社センチュリー経営企画（マキの靴）代表取締役
評議員	ノハ マサヒロ 饒波 正博	沖縄赤十字病院勤務 なは市民協議会
評議員	イトカズ ミキ 糸数 未希	NPO法人にじのはしファンド代表
評議員	モトムラ マコト 本村 真	琉球大学キャリア教育センター センター長・人文社会学部教授
評議員	ツヅキ ヨウコ 續 洋子	NPO法人1万人井戸端会議 副代表/事務局長

理事（任期（2年）：2018年6月22日～2020年評議員会まで）

役職	氏名	所属
理事 代表理事	ゴサカ ワタル 小阪 亘	特定非営利活動法人まちなか研究所わくわく 代表理事
理事 副代表理事	タイラ トウセイ 平良 斗星	株式会社エフエム那覇 会長
理事	オナガ コウキ 翁長 有希	一般社団法人沖縄県キャリア支援・教育連携協議会 理事 一般社団法人be.らぼらとり 代表理事
理事	テルキナ トオル 照喜名 通	沖縄県難病相談支援センター 認定NPO法人 アンビシャス 副理事長
理事	チネン タダヒコ 知念 忠彦	医療法人天仁会 天久ヒルトップ 施設長

監事（任期（4年）：2018年6月22日～2022年評議員会まで）

役職	氏名	所属
監事	ナシロ ヨシエ 名城 佳枝	大学非常勤講師、ファイナンシャルプランナー、沖縄県金融広報アドバイザー
監事	ヤマザキ アラタ 山崎 新	株式会社おきなわedu 取締役

# 組織概要

名称	 公益財団法人 みらいファンド沖縄
英名	Mirai Fund Okinawa Inc. Foundation
設立年月日	2010年4月23日
公益認定日	2011年4月1日
事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
代表理事	小阪 亘
設立経緯	財団設立供出金300万円を 93名の市民から寄付を頂いて 設立
住所	〒903-0824 沖縄県那覇市首里池端町34 2Fタイフーンfm内
加盟団体	一般社団法人全国コミュニティ財団協会 一般社団法人全国レガシーギフト協会

みらいファンド沖縄は、市民のみなさまからの寄付により、設立した「市民立」の財団です。

沖縄の公益活動団体を意志ある人々によって支え合う——みらいファンド沖縄の設立趣意に共感し、設立時拠出金をご寄付くださいましたみなさまに、感謝申し上げます。



## 設立時拠出金に寄付くださったみなさま

(五十音順・敬称略)

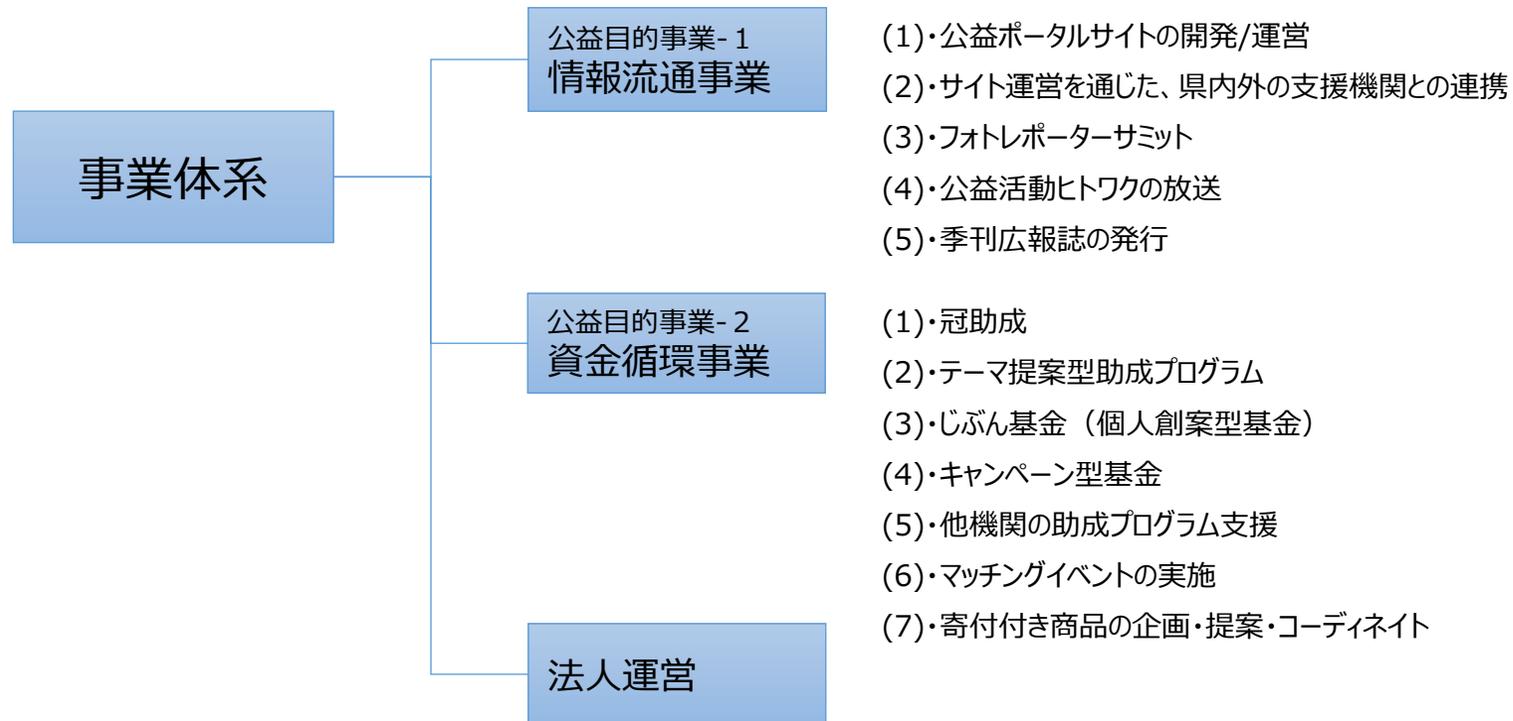
秋葉 武 新井 裕子 新垣 八重子 (有)新垣ちんすこう菓子店  
有井 安仁 東濱 克紀 認定NPO 法人アンビシャス  
石原 達也 今津 新之助 岩田 直子 (株)エフエム那覇  
(株)エフエム21 遠藤 聡志 大城 逸子 大城 喜江子  
大城 幸代 大城 成信 大城 武久 大見謝 恒章  
NPO 沖縄シニアの会 川北 秀人 菊之露酒造(株) 金城 嘉志  
金城 和光 (株)クレイ沖縄 古我知 浩 小阪 亘 小橋川 繁  
小松 かおり 呉屋 貴司 佐久間 愛弓 下地 美香  
(特活) 首里まちづくり研究会 佐脇 広平 新開 育恵  
新星出版(株) 杉浦 幹男 関口 宏聡  
税理士法人添石総合会計事務所 添石 幸伸  
(特活) ソーシャル・デザイン・ファンド 平良 斗星 平良 恵津子  
地域情報エージェント(株) 知花 茂 知念 金徳  
(特活) ちゅらしまフォトミュージアム 當間 愛晃 戸田 幸典  
渡真利 雅男 仲村 一真 中村 聡 (特活) 日中文化交流センター  
比嘉 司 平井 雅 福岡 智子 前田 比呂也 真喜屋 光子  
(特活) まちなか研究所わくわく 松本 哲治 宮里 大八  
宮道 喜一 宮島 さおり 米野 史健 山城 岩夫 山城 司  
与儀 隆一 與古田 清順 (特活) ライフサポートてだこ  
(有) ルーツ 若尾 貴広 若尾 美希子 渡邊 真寿美  
匿名にて寄付くださった方々

(合計 93 名、300 万円)

当財団は、市民コミュニティ財団として公益法人格を有して、以下の公益目的事業を実施する。

コミュニティ財団とは、地域の人々によって設立され、地域のために活動する慈善事業組織です。この組織は、地域からの寄付によって成り立ち、市民によって構成される理事会によって運営され、地域社会のより良い暮らしのために活動しています。資金源は多種多様であり、地域社会の長期的な生活の質の向上のために活用されています。これらの資金は地域社会の代表の選択により各種組織・目的に向けて配分されます。

(全国コミュニティ財団協会資料より抜粋)



# 受入れ寄付額と助成の実績（2010-2019）

		受入寄付 年度達成額	受入寄付 累積達成額	助成金交付 年度実施額	備考
2010 (第1期)	立上期 財団機能 基盤構築	9,197,780円	9,197,780円	5,755,250円	・受入寄付額には拠出金を含む ・震災関連寄付を含む
2011 (第2期)		3,824,684円	13,022,838円	2,427,218円	・受入寄付額にはみらいファンド 沖縄への寄付を含む ・震災関連寄付を含む
2012 (第3期)		5,170,037円	18,194,341円	3,709,315円	・受入寄付額にはみらいファンド 沖縄への寄付を含む
2013 (第4期)	助成プログラ ム・円卓会議 の確立	4,920,777円	23,115,118円	2,383,834円	・受入寄付額にはみらいファンド 沖縄への寄付を含む
2014 (第5期)		2,760,362円	25,875,480円	2,549,919円	・受入寄付額にはみらいファンド 沖縄への寄付を含む
2015 (第6期)		12,718,093円	38,593,573円	1,745,517円	・受入寄付額にはみらいファンド 沖縄への寄付を含む
2016 (第7期)	FR機能の 強化・確立	29,679,412円	68,272,985円	1,325,250円	・受入寄付額にはみらいファンド 沖縄への寄付を含む
2017 (第8期)		19,839,830円	87,839,405円	3,287,547円	・受入寄付額にはみらいファンド 沖縄への寄付を含む
2018 (第9期)		30,349,469円	118,188,874円	70,000,454円	・受入寄付額にはみらいファ ンド沖縄への寄付を含む
2019 (第10期)					

# 略年表 (2009-2013)

年度	みらいファンド沖縄の主なできごと	社会の主なできごと
2009 H21	<ul style="list-style-type: none"> <li>•キックオフフォーラム</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•衆議院選挙で民主党圧勝</li> <li>•裁判員制度施行</li> </ul>
2010 H22	<ul style="list-style-type: none"> <li>•法人設立</li> <li>•那覇市「地域づくり・公益活動支援事業」受託（緊急雇用事業）</li> <li>•「じぶん基金」プログラム2基金スタート</li> <li>•沖縄NPOデータベース公開</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•普天間基地の辺野古移転が白紙に</li> <li>•沖縄県民税の寄附金控除対象法人が拡大</li> <li>•「新しい公共」円卓会議</li> <li>•11月 仲井眞知事 再選</li> <li>•12月 ISO26000発効</li> <li>•3/11 東日本大震災</li> </ul>
2011 H23	<ul style="list-style-type: none"> <li>•公益財団法人化</li> <li>•「寄付と助成のプログラム」スタート</li> <li>•H23「沖縄県新しい公共支援事業」受託</li> <li>•クレジットカードにて寄付決済サービス開始</li> <li>•PSTをクリアし、税額控除認定を受ける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•6月 新しい市民公益税制が成立</li> <li>•6月 改正NPO法が成立</li> <li>•7月 なでしこジャパン FIFA杯優勝</li> <li>•10月 世界のウチナーンチュ大会</li> </ul>
2012 H24	<ul style="list-style-type: none"> <li>•H24沖縄県「新しい公共支援事業」受託</li> <li>•「世界若者ウチナーンチュ大会支援基金」設置</li> <li>•カンパイチャリティを開催</li> <li>•「沖縄まちと子ども基金」設置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•4月 新認定NPO法人制度スタート</li> <li>•5月 沖縄の本土復帰40周年</li> <li>•8月 ロンドンオリンピック</li> <li>•11月 那覇市長に翁長氏が4選</li> <li>•12月 衆議院選挙で自民党圧勝</li> <li>•2月 浦添市にNPO出身の市長が誕生</li> </ul>
2013 H25	<ul style="list-style-type: none"> <li>•4月 事務局をタイフーンfm内に移転</li> <li>•6月 国交省 事業受託</li> <li>•7月 累積寄付受入額 2000万円を突破</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•4月 インターネット選挙解禁</li> <li>•6月 富士山が世界遺産に</li> <li>•11月 旧民法法人の移行特措期間終了</li> </ul>

# 略年表 (2014-2016)

年度	みらいファンド沖縄の主なできごと	社会の主なできごと
2014 H26	<ul style="list-style-type: none"> <li>•6月「寄付と助成のプログラム」を再編し公募開始</li> <li>•6月一般社団法人全国コミュニティ財団協会設立、設立時九州ブロック理事として参画</li> <li>•3月全国コミュニティ財団協会海外招聘事業フォーラム・研修 「米国のコミュニティ財団100年の歴史に学ぶ」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•4月 消費税増税（8%に）</li> <li>•5月 日本創生会議が自治体の896が消滅の危機にあると発表。地方消滅（通称増田レポートの発表）</li> <li>•9月 第2次阿部内閣にて、地方創生担当大臣に石破茂とまち・ひと・しごと創生本部を設置。</li> <li>•9月 FIFAワールドカップ ブラジル大会</li> <li>•12月 沖縄県知事に翁長雄志氏が当選</li> <li>•2月 介護保険制度の改正（要支援1, 2が予防給付の対象除外に）</li> </ul>
2015 H27	<ul style="list-style-type: none"> <li>•10月 じぶん基金 宮里大八国際交流基金を設置</li> <li>•12月 寄付月間、全国規模の寄付推進の取り組み、寄付月間推進委員として、沖縄で寄付推進に取り組む</li> <li>•1月 遺贈寄付 第1号を受け入れる</li> <li>•2月8日 みらいファンド沖縄5周年記念イベント ドネーションパーティ&amp;サンクスデー</li> <li>•琉球大学、名桜大学とCOC+円卓会議開催（県内5カ所）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•普天間基地の辺野古移転が白紙に</li> <li>•沖縄県民税の寄附金控除対象法人が拡大</li> <li>•「戦後70年談話」</li> <li>•9月10日 関東・東北豪雨 鬼怒川氾濫</li> <li>•9月19日 参院本会議で“安保法”可決</li> <li>•11月13日 「パリ同時多発テロ」発生</li> <li>•12月 寄付月間が、寄付を推進する全国的な取り組みが初めておこなれた。</li> <li>•2月 国勢調査で初めて人口減少 1920年の調査開始以来初めて。</li> </ul>
2016 H28	<ul style="list-style-type: none"> <li>•7月 沖縄県が、県内の深刻な子どもの貧困の解決に向けて 沖縄子ども未来県民会議を設置 事業部会の委員として参画</li> <li>•11月 マニフェスト大賞 優秀賞 受賞</li> <li>•11月 全国レガシーギフト協会 設立総会（みらいファンド沖縄加盟）</li> <li>•税額控除認定 更新</li> <li>•1月 新崎盛暉平和活動奨励基金 を設置</li> <li>•累積寄付受入額 5000万円を突破</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•1月 日銀がマイナス金利政策を導入したことにより、 長期金利が過去最低を更新</li> <li>•4月14日、16日 熊本地震、初めて震度7が2回観測</li> <li>•5月 伊勢志摩サミット オバマ米大統領が広島訪問</li> <li>•12月2日 休眠預金活用法成立</li> <li>•1月 ドナルド・トランプの第45代アメリカ合衆国大統領就任</li> </ul>

# 略年表 (2017-2019)

年度	みらいファンド沖縄の主なできごと	社会の主なできごと
2017 H29	<ul style="list-style-type: none"> <li>•11月 助成財団シンポジウム（助成財団センター）と実施</li> <li>•1月 沖縄県で初めて遺贈寄付研修をNPO向け、土業向けに実施</li> <li>•3月 沖縄県が寄付月間2017で賛同パートナー特別賞を受賞</li> <li>•3月 1年間で16回の円卓会議を開催（過去で最高件数）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•1月 トランプ大統領就任、米国第一主義を掲げる</li> <li>•3月 特定非営利活動促進法 成立20周年</li> <li>•7月 都議選で都民ファーストの会が躍進</li> <li>•9月 桐生 9秒98 日本人初の10秒台突破</li> <li>•10月 第48回衆議院選挙 自民党が3分の2議席</li> </ul>
2018 H30	<ul style="list-style-type: none"> <li>•6月 評議員、理事、監事改選</li> <li>•5月 寄付受入金額1億円突破</li> <li>•12月 みらいファンド沖縄活動報告書2010-2018発行</li> <li>•3月 沖縄式地域円卓マニュアル作成費のためのクラウドファンディング実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•1月 仮想通貨流出、交換業者に改善命令</li> <li>•5月 将棋・藤井聡太、最年少で七段に</li> <li>•8月 翁長沖縄県知事死去</li> <li>•9月 玉城沖縄県知事就任</li> <li>•11月 2025年大阪万博開催決定</li> </ul>
2019 H31 R1	<ul style="list-style-type: none"> <li>•7月 うむさんラボと協定を結びうむさん基金を設置</li> <li>•11月 休眠預金交付金事業「沖縄子どもの派遣基金事業」事業スタート</li> <li>•3月 理事会にコンプライアンス委員会を設置し、第1回開催</li> <li>•3月 内部通報窓口の設置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•1月 休眠預金-指定活用団体の決定</li> <li>•1月 休眠預金の発生</li> <li>•5月 新元号 令和</li> <li>•9月 台風・豪雨災害（台風15号、19号）</li> <li>•9月 ラグビーワールドカップが日本にて開催</li> <li>•10月 消費税10%に引き上げ</li> <li>•10月 首里城火災 正殿など焼失</li> <li>•11月 中国武漢にて新型コロナウイルス発生</li> </ul>